

海外事情研究所
書評会

所員研究会

2019年10月30日(水)

17:00~18:30

東京外国語大学海外事情研究所
(研究講義棟 427号室)

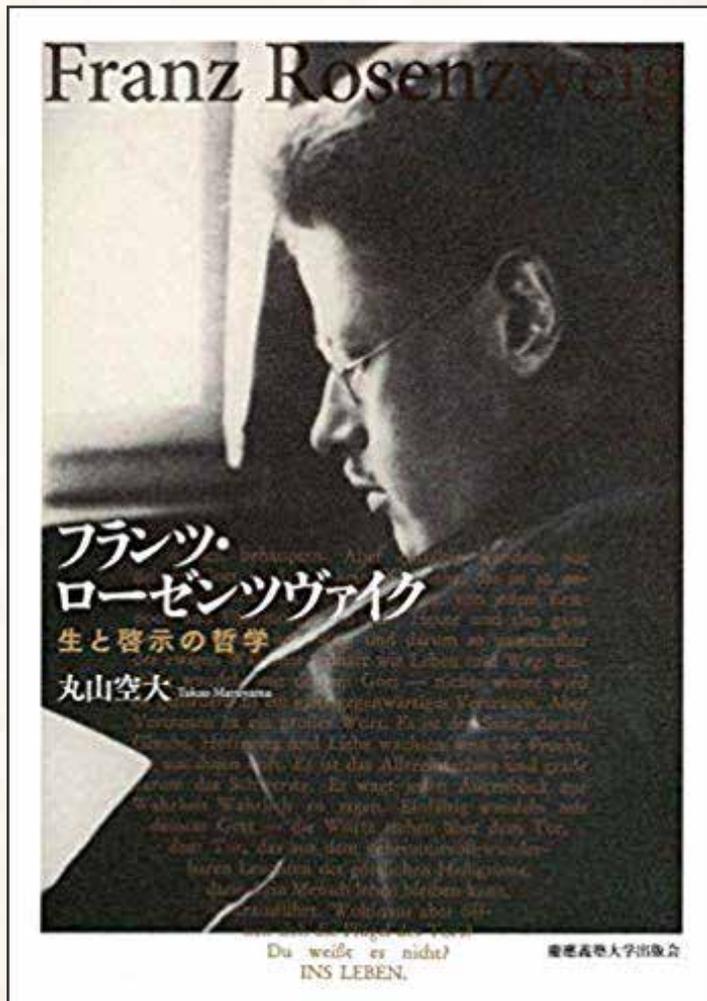
評者 岩崎 稔 (本学教員)

リプライ 丸山 空大 (本学教員)



主催 海外事情研究所

お問い合わせ ifa@tufs.ac.jp



丸山 空大  日本宗教学会賞
受賞
フランツ・
ローゼンツヴァイク
生と啓示の哲学

 本書について

43歳で他界したドイツのユダヤ人思想家、ローゼンツヴァイク。彼の若年期から晩年までの思想的展開とその到達点を明らかにする。初期におけるドイツ近代史への関心、キリスト教への改宗の断念、主著『救済の星』における独自の救済史的思想の展開―。さらに後期思想における、一人ひとりの日常の生と宗教の関係の追究、自ら力を傾けたユダヤ教の宗教教育の実践等から、彼の思考の深化と全体像を解明する。